

ステーションだより

第56号

発行者

武田貴子 宮本祥代 増田 貢 深井純子 吉田唯之
<http://www.sekishinkai.or.jp/saiwai-zaitaku.html>



今回は、新川崎居宅介護支援事業所の利用者様 鷹^{たかはし}箸岩夫様・サチ子様ご夫妻の作品をご紹介します。

利用者さん 作品紹介



たくさんの色のビーズが揃っています。



岩夫様の作品です。皆様は、『パーラービーズ』をご存知ですか。ビーズを並べてアイロンで熱を加えると可愛いモチーフが作れます。

岩夫様作品

〜パーラービーズ〜



キラキラ光る絵画

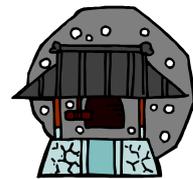
サチ子様作品は、『ビーズ絵画』です。家事の合間をみて一ヶ月位かけて作られた作品です。

サチ子様作品

〜ビーズ絵画〜

ぷちさんぽ

赤穂浪士に縁のお寺を散歩



皆様にご好評頂いた「ぷちさんぽ」もついに最終回となりました。今回は幸区内にある、年末の時代劇「忠臣蔵」でお馴染みの赤穂浪士四十七士ゆかりの場所を散歩してみました。

● 稱名寺 しょうみやうじ

まずは鹿島田駅から
徒歩約十分の稱名寺へ。



● 赤穂浪士との関係

元禄十五年（一七〇二）十二月十四日主君浅野内匠頭 あさのたくみのかみ

長矩の仇である吉良上野介義央の屋敷に討ち入りをし きりこうすけのすけよしひさ

おおいしんりのすけよししたか

た赤穂藩入石内蔵助良雄以下四十七士の物語である
「忠臣蔵」は、みなさんよくご存知かと思えます。

その四十七士の一人である富森助右衛門の仮屋敷が現
在の幸区下平間にあったことをご存知でしょうか？ とみのもりすけえもん

場所は現在のフロール下平間がある辺りとされています

ます。ここには下平間村の年寄役を務めていた軽部五 かるべごへい
兵衛という浅野家と近い農民の屋敷があり、そこに
仮宿を建てて隠れ住んでいたそうです。

この屋敷には、討ち入りに向かう途中の大石内蔵助ら
が十日程滞在し、江戸に潜入していた同士に向けて
「十ヶ条の訓令」を起草した逸話もあるそうです。

● 稱名寺の所蔵品

（市の重要歴史記念物）

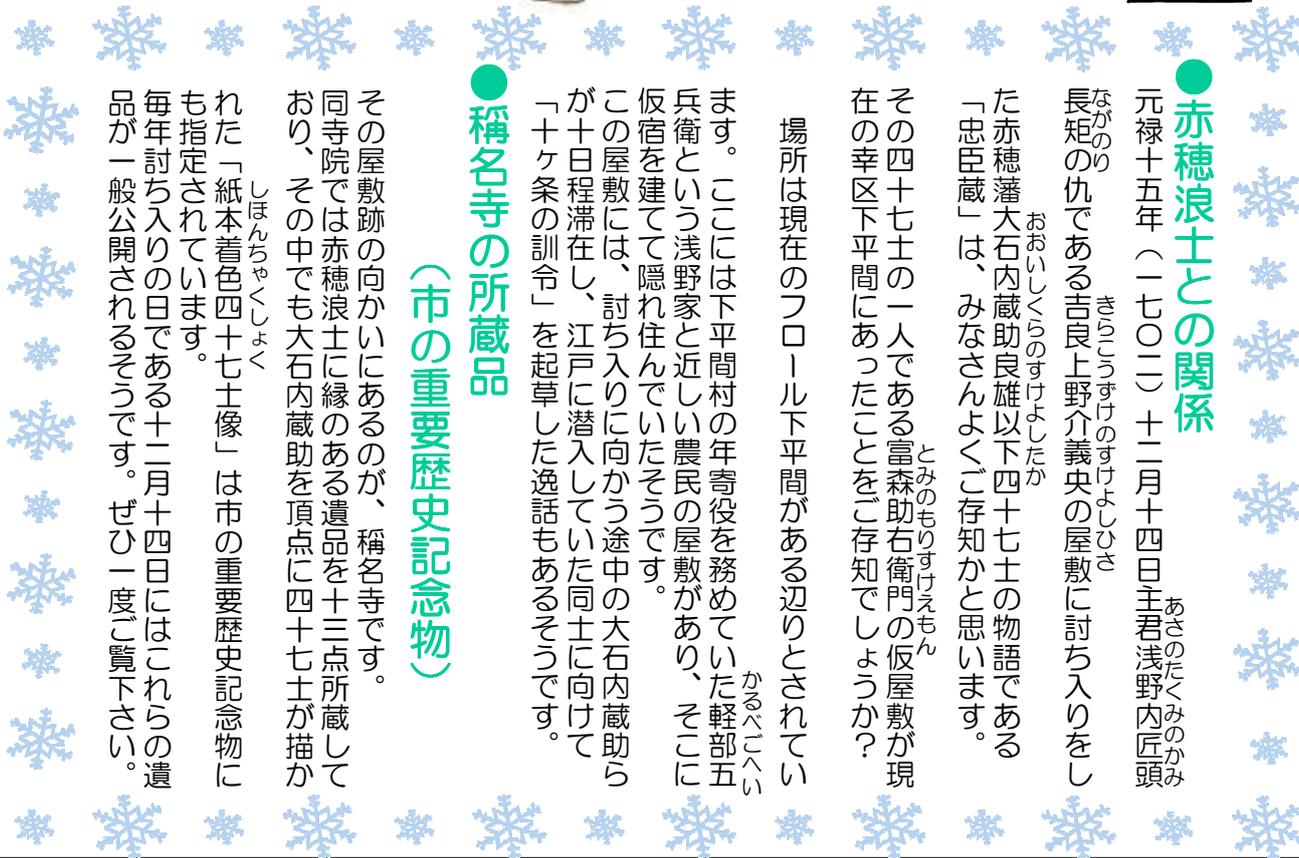
その屋敷跡の向かいにあるのが、稱名寺です。

同寺院では赤穂浪士に縁のある遺品を十三点所蔵して
おり、その中でも大石内蔵助を頂点に四十七士が描か

しほんちやくしよく

れた「紙本着色四十七士像」は市の重要歴史記念物に
も指定されています。

毎年討ち入りの日である十二月十四日にはこれらの遺
品が一般公開されるそうです。ぜひ一度ご覧下さい。



赤穂浪士の隠れ家の主、軽部五兵衛の墓が北加瀬にある了源寺の境内にあります。了源寺は夢見ヶ崎動物公園に隣接しているため、公園散策の際にはぜひ立ち寄って歴史に触れてみてはいかがでしょうか？

稱名寺境内にあります



了源寺

りょうげんじ



次は小倉陸橋を越えて夢見ヶ崎動物公園内の了源寺へ。



お寺のすぐ横にいるよ



ゴール♪
了源寺到着



了源寺への散歩道

幸警察署
日吉交番



夢見ヶ崎
入-ツヨ



散歩に疲れたら、夢見ヶ崎動物公園内のベンチで一休み♪

了源寺への道すがら、気になるお店を発見♪
ゴールのお寺までもう少し！登り坂はゆっくりマイペースで登りましょう (^-^)/

こんな箇所が危険です!



サイドレールとサイドレールのすき間



ボードとサイドレールのすき間



すき間への対応策



クッション等ですき間をうめる

柵と柵のあいだに専用の器具を取り付ける

危険なすき間の発生しない設計のベッドや柵に変更する

「医療・介護ベッド安全普及協議会」パンフレットより



**介護ベッドのはさまれ事故に
▶注意ください!**

介護ベッドのすき間に身体や頭がはさまれ、ケガをしたり死亡する事故が全国で発生しています。ご利用の方はくれぐれもご注意ください。

★福祉用具レンタルさいわいの取り組み★

福祉用具レンタルさいわいでは、安心して安全に介護ベッドをご利用いただけるよう、次のような取り組みをおこないます。

● 導入時や定期訪問時には、安全チェック表を活用し、危険性がないかどうか確認を徹底します。

● 現在ご利用中の介護ベッドが新JIS規格認証機種でないご利用者へは、危険なすき間が発生しないよう認証機種への変更をご提案いたします。

(新JIS規格認証機種では、すき間の基準が強化され安全性が向上しています)

● ベッド本体の変更が困難な場合は、付属品(柵・手すりなど)を新JIS規格を満たす商品に変更し、危険なすき間が発生しないよう提案させていただきます。

ご不明な点がありましたら、お気軽にお問合せください

福祉用具レンタルさいわい 044-521-6311



【編集後記】今年もまたインフルエンザ流行のニュースが聞こえてきました。外出後の石けんでの手洗いうがいを徹底するほか、十分な栄養とバランスの取れた栄養摂取を心掛けて乗り切りたいですね。

編集者 森由貴 渡辺文祐 野本京子 齊藤久美子 清崎由美子

